

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	水防事業(茂原市雨水貯留施設等設置工事助成金)		基本計画	章	生活環境
事業コード				節	消防・防災
課係名	土木管理課	内線		項	防災体制の充実
担当者氏名		職名		細項目	災害予防対策(水防事業)

**事業概要**  
 洪水被害軽減対策の一つである雨水流出抑制のために設置する雨水の一時貯留施設及び地下浸透施設について、その費用の一部を助成することにより設置促進しようとするものである。  
 ①助成対象 雨水貯留施設は貯留容量150リットル以上・雨水浸透ますは内径350mm以上 ②対象工事費(設備材料購入費と設置工事費の合計)の2分の1以内(限度額 雨水貯留施設25,000円/箇所・雨水浸透ます10,000円/箇所) ③助成は1建築物につき、雨水貯留施設及び雨水浸透ます各2箇所まで

**現在の課題や市民要望など**  
 昨年の台風26号により3度目となる河川堤防越水による水害を受け、治水安全度を向上させるためには、河川の流下能力向上の取組みと合わせて、河川等へ流れ出る雨水の流出抑制を図る必要がある。

**事業目的**  
 ① 一宮川浸水対策検討の場において、一般住宅等における貯水タンク、雨水浸透ます等の設置促進が提言されたことから、流域における対策の一環として実施し洪水被害軽減を図る。  
 ②  
 ③  
 ④

**個別取組**  
 ① 雨どい取付型の雨水貯留施設の設置促進  
 ② 雨水浸透ますの設置促進  
 ③  
 ④

**事業による改善・変更点**  
 ① 雨水貯留施設設置及び雨水浸透ます設置の普及促進により、河川等への雨水流出抑制が図れる。  
 ②  
 ③  
 ④

**事業対象**  
 個人・世帯  団体(民間)  団体(公共)  内部管理  その他 ( )  
**内容**  
 ① 建築物の所有者  
 ② 建築物の占有者(建築物所有者が承諾した場合に限る)  
 ③  
 ④

**業務形態**  
 全部委託  一部委託  直営  負担金・交付金  その他 ( )  
**内容**  
 ① 茂原市雨水貯留施設等設置工事助成金  
 ②  
 ③  
 ④

**支出根拠**  
 有  無 法令要綱: ① 茂原市雨水貯留施設等設置工事助成金交付要綱(新規) ②  
 等名称: ③ ④

**事業継続**  
 単年度  複数年度:無期 後年度負担  有  無  
 複数年度:有期[ 始期 H26 ~ 終期 H31 ] 内容 事業期間中における助成金の支出

事業費の積算	H26年度	雨水貯留施設 25,000円/箇所×50箇所=1,250,000円	事業費	2,250,000	事務スケジュール	年月	内容	
		雨水浸透ます 10,000円/箇所×100箇所=1,000,000円	国 県					26.10 助成金交付申請受付・審査
			市 債					交付決定
	H27年度	雨水貯留施設 25,000円/箇所×100箇所=2,500,000円	その他			交付請求・支出		
		雨水浸透ます 10,000円/箇所×200箇所=2,000,000円	一般財源	2,250,000				
			事業費	4,500,000				
	H28年度	雨水貯留施設 25,000円/箇所×100箇所=2,500,000円	国 県					
		雨水浸透ます 10,000円/箇所×200箇所=2,000,000円	市 債					
			その他					
			一般財源	4,500,000				
			事業費	4,500,000				
			国 県					
		市 債						
		その他						
		一般財源	4,500,000					

**経費節減効果**  有  無 節減効果の内容  
 金額 千円

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			26年度	27年度	28年度
■活動指標	①	雨水貯留施設設置箇所数	設置箇所累計	50	100	100
	②	雨水浸透ます設置箇所数	設置箇所累計	100	200	200
■成果指標	①	雨水流出抑制量(m <sup>3</sup> )	雨水貯留施設設置箇所累計×0.15m <sup>3</sup> +雨水浸透ます設置箇所累計×(0.35×0.35×3.14/4×0.5)	12.3	36.9	61.5
	②					

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。</li> <li>・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	昨年の台風26号により、3度目となる河川堤防越水による水害を受け、洪水被害軽減に向けた対策として、河川の流下能力向上の取組みと合わせて、河川等への雨水流出抑制を図り、治水安全度を向上させる必要がある。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図した成果は確実に得られるか。</li> <li>・類似の目的を持つ事業はないか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	治水対策の一つである雨水流出抑制を図るには、雨水貯留施設及び雨水浸透ますの設置を促進していく必要がある。 また、防災面からは初期消火や震災などの非常時における断水対策として、環境面からは省資源対策としての庭まき用の散水や洗浄水としての利用がある。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	雨水貯留施設及び雨水浸透ますの設置促進のためには、1箇所当たりの助成限度額を設けた上で、基本的には対象工事費(設備材料購入費と設置工事費の合計)の2分の1の助成は必要と考える。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今実施しなければならない理由。</li> <li>・実施しない場合の問題点。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	洪水被害軽減に向けて、千葉県で設置した一宮川浸水対策検討の場の報告でも、平成31年度までに市で実施する対策の一つとして、一般住宅等における貯水タンク、雨水浸透ます等の設置促進の検討が盛り込まれている。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう市民要望があるのか。</li> <li>・受益者負担は適正か。</li> <li>・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。</li> </ul>	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	洪水被害軽減のために一宮川浸水対策検討の場で示された、一般住宅等における貯水タンク、雨水浸透ますの設置促進について、県から実施検討の要請がある。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況			
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. ほとんどの自治体で実施 B. 同規模以上の自治体は実施 C. ほとんど実施していない	県内では、都市型洪水を軽減させる雨水流出抑制の目的以外に、雨水資源の有効活用や節水効果としての庭まき用散水や洗浄水として、また震災などの非常時での断水用として、雨水貯留施設設置工事の助成を千葉市、浦安市、市川市、船橋市、我孫子市、佐倉市、四街道市の7市で、また雨水流出抑制策や地下浸透による緑と水辺保全などの目的で、千葉市、市川市、船橋市、佐倉市の4市で雨水浸透ますの助成を実施している。	
総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	基本計画では、排水路及び道路排水の整備を進めることとしており、当該制度は位置付けられていない。また費用対効果についても、治水という点では、都市部と異なり、本市では低いものと考えられることから、実施しないこととする。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	これまでの3度に及ぶ水害を踏まえ、行政が実施する対策のみならず、河川への雨水流出抑制に向け、市民を対象とした意識啓発及び市民自らの取り組みも必要であることから実施とする。	
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	行政が実施する事業に加え、住民自らの取り組みを促進し、官民一体となった更なる治水対策を講じる。	